

# 北 総 の 力

～思いを伝えるチーム ほ・く・そ・う～



## 自分の考えをもち、主体的に伝え合う児童の育成 ～言語能力の向上に焦点を当てて～ 神崎町立神崎小学校の取組

「ちばっ子の学び変革事業」検証協力校である神崎町立神崎小学校の研究実践について紹介いたします。

神崎小学校では、全国学力・学習状況調査の分析をしたところ、国語では、「話すこと・聞くこと」においては高い力を発揮できました。しかし、「読むこと」において、文章と図表などを結びつけながら正しく内容を読み取ることに、また、「書くこと」においては、複数の条件が出されると、全ての条件を漏れ落ちなく書くことに課題があることがわかりました。

以上のことから、教師の取組と児童に対する取組の両面から実践を行うこと、自校の強みである話す力・聞く力を生かした手立てを講じることで、課題を解決することができると考え、以下のような実践を行いました。

### <教師の取組>

#### ○全国学力・学習状況調査の結果分析の共有と問題解決に向けた手立ての検討

今年度の調査問題と結果を職員全体で共有し、児童の傾向を教師が把握するとともに、普段の授業の組み立てや、講ずべき手立て等について、教師間で話し合いました。

#### ○教師の指導力アップのための相互授業参観

年間2回、相互授業参観週間を設け、さまざまな授業を参観する機会を設けました。

成果：全国学力・学習状況調査の結果を学校全体で共有したことで、課題解決に向けた方策を考えることができ、担当する学年の実態に応じて実践していこうという動きが見られました。

### <児童に対する取組>

#### ○自分の考えをもち、主体的に伝え合う活動

書く力を身に付けるためには、①自分の考えをもつこと、②話すことを通して、自分の考えを表現する力を身に付けることが大前提にあると考え、研究に取り組みました。



考えを深めるために行った話し合い活動

#### ○自分の言葉でまとめや振り返りを書く活動

国語科以外の教科においても、自分の言葉でまとめや振り返りを書くようにしました。

#### ○「言葉ブック」の活用

語彙を増やすため、「心情を表す言葉」等を掲載した用語集を作成し、一人一冊配付しました。

成果：伝え合いを軸に取り組んだことで、書くことへの抵抗感が和らぐとともに、自分の考えをより深めたり広げたりすることができました。

# 北 総 の カ

～思いを伝えるチーム ほ・く・そ・う～



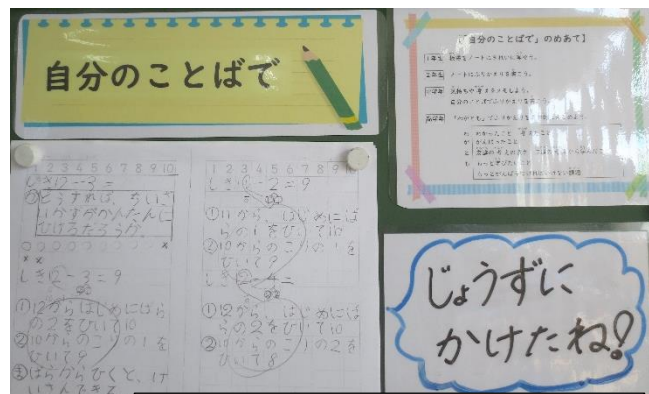
## 自ら進んで思考し、表現する力を育てる算数指導

### 匝瑳市立野田小学校の取組

- ◆匝瑳市立野田小学校では、全国学力・学習状況調査の結果を分析から、次のことを課題として捉えています。
  - ・算数の「記述式」の問題での正答率が低く、回答せずに終えている児童が多い。
  - ・相手に伝わるように的確に表現することを苦手とする児童が多い。
- ◆令和4年度まで研究を進めてきたユニバーサルデザインの視点に加え、『「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラム』を活用し、算数の授業における学習過程について以下のような仮説を立て、授業改善に取り組んでいます。
  - ・「見いだす」過程でユニバーサルデザインを活用し、工夫して素材文を提示すれば、児童の思考力を高めることができるであろう。
  - ・「自分で取り組む（調べる）」過程で、ユニバーサルデザインを活かしてワークシートや場の工夫等をしていけば、児童の表現する力を育てることができるであろう。

#### 【具体的な取組】

- 学年ごとに目標を設定したノート指導
    - 1年生…板書をノートにきれいに写すことができる。
    - 2年生…簡単にノートにふりかえりを書くことができる。
    - 中学年…気持ちや考えをメモすることができる。
- 自分の言葉でふりかえりを書くことができる。



キーワード「自分のことばで」

高学年…「わがとも」を視点としたふりかえりを具体的にすることができる。

**わ** わかったこと **か** かんがえたこと **と** 友達の考えの良さ 友達の考えから学んだこと  
**が** がんばったこと **も** もっと学びたいこと もっとがんばらなければいけない課題

- 「見いだす」過程、「自分で取り組む（調べる）」過程にユニバーサルデザインを取り入れた授業実践
- ◆実践を通して見られた成果を紹介します。
  - ・素材の提示を、具体物や半具体物を使うなど各学年の実態に合った手立てを用いたことで主体的に取り組む児童の姿が見られた。
  - ・解決の見通しをもち、解決方法を選択させることで、表現する力がついてきた。また、自分の考えを口頭で表現し、それをノートに書くことができるようになってきた。
  - ・ワークシートを工夫したり、ヒントカードを複数用意したりすることで、自分の力で考えを書くことができ自信をもって発表できる児童の姿が見られた。